

ビーチスポーツ展開の可能性探る

朝日さん(日本ビーチ文化振興協理) 酒田・大浜海岸視察

から始動した女子バレーボールチーム「フランマール」の北原勉監督とも旧知とのことで、「国体で来たことも含め、酒田とはバレーで何かと縁がある。応援していきたい」と話した。

元ビーチバレーボール日本代表で、NPO法人日本ビーチ文化振興協会(本部・東京都)理事長の朝日健太郎さん(39)が26日、酒田市の大浜海岸など酒田港を視察に訪れ、同海岸でのビーチスポーツ展開の可能性などを探った。

朝日さんは熊本生まれ。法政大学在学中にバレーボールの日本代表に選ばれ、卒業後はサントリーでVリーグ3連覇に貢献。2002年にビーチバレーに転向し、08年の北京、12年のロンドン両五輪に出場した。酒田には、高校時代の1992年、市内で開かれたベにはな国体バレーボール競技に熊本県代表として出場したほか、2007年には大浜海岸で開かれたビーチバレー大会にゲストとして招かれている。今回は国土交通省酒田港湾事務所の上原修二所長と旧知という縁

で訪れた。この日は、上原所長の案内で大浜海岸を歩いた後、近くの酒田北港緑地展望台から、周辺の港湾設備や防波堤の整備、国際ターミナルの稼働状況などを聞いた。

「砂ソムリエ」を自認する朝日さんは視察後、大浜海岸について「砂の質が良い。粒子がそろっていて、足が埋まる感覚が心地よく、また、酒田を拠点に今春



大浜海岸を視察した朝日さん(右)